

がん検診早わかり - その1 -



◎日本人ががんにかかる割合

現在、男性の約2人に1人、女性の約3人に1人ががんにかかっています。たとえ自分がかからなくても、周囲の大切な誰かががんになる可能性は非常に高く、他人事ではありません。

◎がん検診は定期的に受けましょう

がんの診断や治療法は、急速に進歩しています。早期のうちに発見して、適切な治療を受ければ完治も可能で、もはや不治の病ではありません。

しかし、がんは自覚症状がないまま進行していき、気付いた時は手遅れ、ということも少なくありません。定期的に検診を受けることが、非常に重要になってきます。

◎肺がん検診

肺がんは、日本人のがんの死亡数の第1位です。肺がん発症の最大の原因はタバコで、喫煙年数や本数が多いほど、肺がんのリスクが高まります。また、受動喫煙によっても肺がんのリスクが高まるため、非喫煙者でも油断はできません。

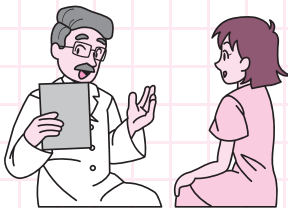


◎検診方法

胸部X線検査 . . . 対象者 40 歳以上

主に気管支の末梢^{まっしょう}にできるがんの発見に適しています。

喀痰細胞診検査^{かくたん} . . . 特に喫煙者は受診しましょう。痰を採取し、肺がんの細胞が混じっているか、顕微鏡で調べます。肺門部にできるがんの発見に適しています。



【市の肺がん検診結果（平成 24 年度）】

（単位：人）

検診の種類	受診人数	肺がん
胸部 X 線検査	6,062	6
喀痰細胞診検査	70	0

◎症状がある場合

治りにくい咳、血痰、胸痛、息切れ、呼吸時のゼーゼー音、声のかすれ、顔や首のむくみがあったらすみやかに医療機関を受診しましょう。

※検診の詳細日程は、健康カレンダー及び広報常陸大宮お知らせ版等に掲載しています。また資料については、健康づくり推進員をとおして、対象の住民健診日の約1カ月前に配付しています。

■問い合わせ■ 健康推進課 [総合保健福祉センター(かがやき)内] ☎54 - 7121